



りんご狩り

NJ日本人学校

ニュージャージー日本人学校(岡村富広校長)では、9月21日に初等部1・2・3年生の児童で、デマレストファームにりんご狩り(アップルピッキング)に出かけた。

「日本でもりんご狩りを経験したことのある児童が一人もおらず、事前学習の時から楽しみにしていた児童も多かった。りんご園が近い本校ならではの活動の一つ」と言える。

当日は、素晴らしい秋晴れに恵まれ、絶好のピッキング日和になった。子供たちはりんごの重みでまるで釣り竿のようになつて、木々を見て大興奮。すぐにピッキングに夢中になつた。

教師が「りんごを取ることを楽しんで、何か感じたか」と声をかけていたが、子供たちは「半分緑色が半分赤色だよ」「太陽が当たっている方が赤いんじゃない」「ねえねえ、種類が違うりんごがあるよ」「本当だ。葉っぱの感じも違うねえ」「こつちのりんごがおいしそうだよ」「私は青りんごがいいな」などと会話がはずみ、ピッキングを堪能しながら、いろいろと感じていた。

学校に帰ってすぐに各学年ごとにピッキングのふりかえりを行った。子供たちにとつて、友達と協力して過ごした半日は多くの気づきや発見のあつた、まさに実りの多い一日になつたようだ。

この日は、袋いっぱいりんごと、子供たちの笑顔が、児童家庭へのお土産となつたようだった。